

次号予告

特集 ファジィ OR

ファジィ組合せ最適化	石井博昭 (大阪大学)
可能性計画法: 最適性問題を中心として	乾口雅弘 (大阪大学)
大規模多目的ファジィ計画法	坂和正敏, 加藤浩介 (広島大学)
ファジィゲーム	西崎一郎, 坂和正敏 (広島大学)
ファジィ動的計画法	岩本誠一 (九州大学)

編集後記

●若山邦紘先生が本誌の編集委員長をされていた時だからもうかれこれ10年以上前のことである。当時副委員長だった山下勝比呂氏が「日本はもはや世界から相手にされなくなって来ている。Japan bashingではなくてJapan passing」と言われていたのを時々思い出す。バブルがはじけてから大企業や銀行や証券会社が相次いで倒産する遙か前のことだった。米国OR学会/経営科学会の応用確率部会・生産システム部会に出ると、日本から始まったジャストインタイム(JIT)生産方式が注目され、盛んに研究されていた。AT&Tベル研究所のDebasis Mitra氏も、Kanbanシステムを対象にして、流体近似解析していた。トヨタ生産工場では情報伝達・制御手段として使われていた「看板」が英語Kanbanになっていたのである。

●今月号の特集オーガナイザーは大野勝久先生である。大野先生は、学会で披露されるその鋭く厳しいご意見

とは対照的に、個人的なお付き合いでは大変優しい。私事で恐縮であるが数年前に名古屋工業大学にお邪魔した時も、夜の宴会にお付き合い頂いた上に、翌朝やや目を細められて「ヨシタカさん、一緒に朝食でも」とお誘い下さる。このように若い者にも気配りされかつ学問的に厳しい大野先生がオーガナイズされたということで、特集論文の原稿は全て遅滞なく学会に届き、編集作業は極めてスムーズに運んだ。

●特集テーマでは、JIT生産システムを、待ち行列・セミマルコフ決定過程・数理計画法等のOR的な切り口で料理する。展開されている料理法は情報通信(IT)システムにも殆んど適用できる。中学生や高校生といった若い世代が売店や駅で、携帯電話を巧みに操作してインターネットを楽しんでいる様子一極めて日本的な光景一を見るにつけ、日本発ITシステムの実現も満更ではないと思うのは楽観的過ぎるであろうか。(高橋敬隆)

オペレーションズ・リサーチ 編集委員会

委員長 上田 徹(成蹊大学) 副委員長 高橋敬隆(早稲田大学)

委員 大澤義明(筑波大学), 大屋隆生(財電力中央研究所), 小沢利久(駒澤大学), 北澤英理子(東京ガス株), 中川慶一郎(株NTTデータ), 中川義之(株住友金属システムソリューションズ), 生田目崇(東京理科大学), 並木 誠(東邦大学), 難波和明(東京理科大学), 原 裕淳(株東芝), 平山克己(北九州市立大学), 松村良平(東京工業大学), 三浦英俊(明海大学), 吉野秀明(日本電信電話株)

本誌に掲載された記事についての著作権は、社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会に帰属する。

オペレーションズ・リサーチ

平成14年4月号 第47巻 第4号 通巻496号

代表者 長谷川利治

発行所 社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会

東京都文京区弥生2-4-16 学会センタービル

電話 03-3815-3351(代) FAX 03-3815-3352 〒113-0032

<http://www.orsj.or.jp/>

編集人 上田 徹

発売所 株式会社 日科技連出版社

東京都渋谷区千駄ヶ谷5-4-2 〒151-0051

●本誌のご注文は直接

日本オペレーションズ・リサーチ学会へ 定価970円(本体924円)年間予約購読料11,040円(税込)

●本誌への広告お申し込みは明報社(3546-1337)、日経弘報社(3563-2241)へ

オペレーションズ・リサーチ—経営の科学—

—バックナンバーのご案内—

- | | | | |
|-----------------|--------------------------------------|-----------------|----------------------|
| 2002年 (Vol. 47) | 9月号 | 少子・高齢化問題 | |
| 3月号 | スポーツと OR | 8月号 | ソフトウェア信頼性評価法の新潮流 |
| 2月号 | データ解析コンペティション：
金融マーケティング(2) | 7月号 | 医療システムと OR |
| 1月号 | 企業事例 | 6月号 | サプライチェーンマネジメント |
| 2001年 (Vol. 46) | 5月号 | 大域的最適化 | |
| 12月号 | 光時代の情報流通サービス | 4月号 | 地球環境問題、わが国の戦略 |
| 11月号 | 2001年の金融工学 | 3月号 | スポーツの戦術とマネジメント |
| 10月号 | マルチエージェント実験経済学 | 2月号 | 不動産業の再生と不動産学への期待 |
| 9月号 | サービスシステムのスケジューリング | 1月号 | AHPの発展経緯と最近の話題 |
| 8月号 | 電力自由化を巡る新ビジネスの展開 | 1998年 (Vol. 43) | |
| 7月号 | 建築の OR | 12月号 | データウェアハウスとデータマイニング |
| 6月号 | DEAモデルとその応用 | 11月号 | 企業事例 |
| 5月号 | サポートベクターマシン：その仕組と応用
—分類手法の新展開— | 10月号 | GIS(地理情報システム)の活用事例 |
| 4月号 | シミュレーションの数理：最近の動向 | 9月号 | BOT—巨大プロジェクト実現の組織 |
| 3月号 | 企業事例 | 8月号 | 季節変動のマネジメント |
| 2月号 | 認識・感情・意思決定 | 7月号 | 社会科学における計量・数理分析の潮流 |
| 1月号 | 空間データ：最近の整備動向と新たな活用 | 6月号 | 自然災害と防災研究 |
| 2000年 (Vol. 45) | 5月号 | 待ち行列理論の最近の応用 | |
| 12月号 | データ解析コンペティション
—金融マーケティング— | 4月号 | 官庁統計 |
| 11月号 | ヒューマンエラーからのリカバリ | 3月号 | 公益事業における規制緩和 |
| 10月号 | 暗号は社会を変える | 2月号 | ユーザのための数理計画応用 |
| 9月号 | 最適配置問題 | 1月号 | 業務改革のための原価管理：ABCとABM |
| 8月号 | 企業事例 | 1997年 (Vol. 42) | |
| 7月号 | 次世代道路交通システム—ITS— | 12月号 | 高校生のための OR(2) |
| 6月号 | スケジューリングの革新的アルゴリズム
—ラグランジュ分解・調整法— | 11月号 | 電子マネー |
| 5月号 | 金融・証券ビジネスと OR | 10月号 | 組織システム論の新たな展開 |
| 4月号 | 中堅・中小企業における戦略的情報化 | 9月号 | 多主体複雑系のパラダイム |
| 3月号 | アルゴリズム工学 | 8月号 | 通信・情報処理分野における OR の実践 |
| 2月号 | 論文・事例研究 論文・研究レポート | 7月号 | 組織知能と情報ネットワーク企業 |
| 1月号 | 経営学におけるゲーム理論と決定理論 | 6月号 | 文科系のための OR 教育 |
| 1999年 (Vol. 44) | 5月号 | ORの適用事例 | |
| 12月号 | 少子・高齢化問題II | 4月号 | ビジネスプロセスの分析手法 |
| 11月号 | 企業事例 | 3月号 | 流通の今日的課題と展望 |
| 10月号 | パートナリング | * 2月号 | 企業事例—トヨタの生産システム |
| | | 1月号 | 都市構造と省エネルギー |
| | | 1996年 (Vol. 41) | |
| | | 12月号 | ゲーム理論の新たな展開と最近の適用例 |
| | | 11月号 | オプション理論とその周辺 |

*印は品切れ、価格 950 円 (本体 922 円) [Vol. 42 4月号からは定価 970 円 (本体 924 円)]

(社)日本 OR 学会

〒113-0032 文京区弥生 2-4-16 学会センタービル
Tel. 03(3815)3351 代 Fax. 03(3815)3352

日本学術会議経営工学研究連絡委員会
人工物設計・生産研究連絡委員会 経営管理工学専門委員会

第18回 FMES・研連シンポジウムのご案内

「はじまったJABEE審査～経営工学関連分野における取組～」

共 催

日本学術会議人工物設計・生産研究連絡委員会 経営管理工学専門委員会、
日本学術会議経営工学研究連絡委員会、FMES (経営工学関連学会協議会)、
(社)日本オペレーションズ・リサーチ学会、(社)日本品質管理学会、
日本開発工学会、日本信頼性学会、研究・技術計画学会、日本設備管理学会、
経営情報学会、プロジェクトマネジメント学会、(社)日本経営工学会 (順不同)

JABEE (Japan Accreditation Board for Engineering Education : 日本技術者教育認定機構) は、平成11年に、「統一的基準に基づいて高等教育機関における技術者教育プログラムの認定を行い、その国際的な同等性を確保するとともに、技術者教育の育成を通じて社会と産業の発展に寄与すること」を目的に設立されました。

FMES (経営工学関連学会協議会) では、それを受けて「日本技術者教育認定機構 (JABEE) 参加検討委員会」を設立し、JABEE における経営工学の分野別要件を明らかにした上で、「経営工学関連分野」の名称で、14の技術者教育分野の1つとして認定されました。

現在は、FMES/JABEE 委員会として、JABEE における経営工学関連分野についての試行審査を担当するなど、JABEE 内での経営工学関連分野を代表する組織として活動しています。FMES/JABEE 委員会では、平成13年12月16日～18日に、鳥取大学工学部社会開発システム工学科を、同じく12月21日～23日には早稲田大学理工学部経営システム工学科を試行審査しました。

日本技術者教育認定機構では、本審査を実施する際には、審査を受ける大学の社会的評価への影響の大きさを考慮し、審査結果はもちろんのこと、プログラム名 (学科名) や審査を希望する意向自体を守秘義務としています。

そのため、審査に関わる内容については、本審査がスタートした後では、必ずしも全てが一般に開示されることとはなりません。

今回、研連シンポジウム委員会では、FMES/JABEE 委員会の協力を得て、昨年12月に実施された試行審査について、2つの大学の状況を審査長、および大学側のプログラム責任者に話をさせていただくことにしました。また、アメリカでの審査状況や JABEE の今後の取組み、技術士資格との関連についても報告していただきます。

質疑応答の時間も十分に設けており、多くの方の参加をお待ち申し上げます。

1. 日 時 2002年5月17日(金) 13:30~18:00
2. 会 場 青山学院大学 総研ビル12階大会議室(11階でエレベータを降りる)
3. 資 料 代 5,000円(学生2,000円)資料代は開催当日受付でお支払いください。
4. 定 員 200名(定員に達し次第締め切らせていただきます。)
5. 申込方法 参加申込書に必要事項をご記入の上、FAXまたは郵送でお送り下さい。
参加申込受付後(5月13日(月)受付分迄)、参加票をFAXまたは郵送にてお送り致します。当日は参加票をご持参下さい。
6. 申 込 先 〒113-8622 東京都文京区本駒込5-16-19(財)日本学会事務センター内
(社)日本経営工学会 事務局 「第18回FMES・研連シンポジウム 係」
TEL 03-5814-5801 FAX 03-5814-5820
7. 問合せ先 各所属学会事務局までお願い致します。

	TEL	FAX
(社)日本経営工学会	03-5814-5801	03-5814-5820
(社)オペレーションズ・リサーチ学会	03-3815-3351	03-3815-3352
(社)日本品質管理学会	03-5378-1506	03-5378-1507
日本開発工学会	03-3352-6077	03-3352-6087
日本信頼性学会	03-5379-1235	03-5379-1393
研究・技術計画学会	03-3341-0481	03-3341-0481
日本設備管理学会	03-5814-5801	03-5814-5820
経営情報学会	03-5814-5801	03-5814-5820
プロジェクトマネジメント学会	047-478-2322	047-478-2322

8. 会場案内図

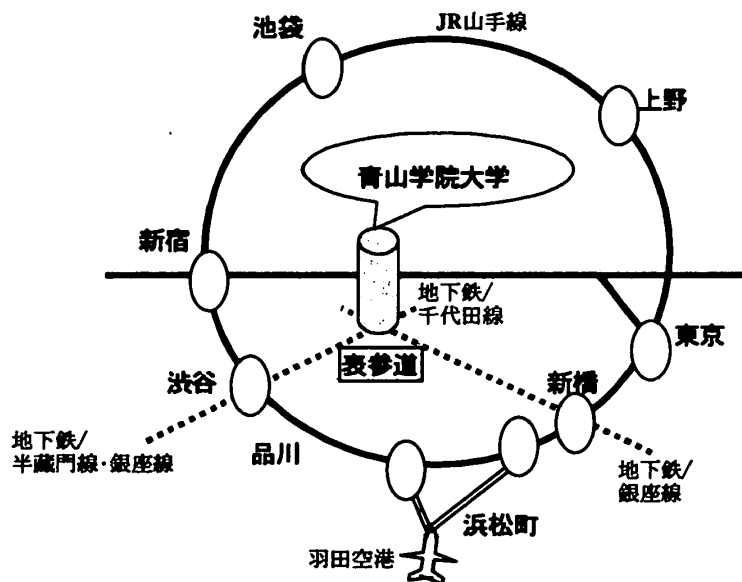
青山学院大学 総合研究所ビル (正門入りすぐ右側の建物)

東京都渋谷区渋谷4-4-25 TEL. 03-3409-8111 (総合受付)

交通案内

JR山手線・埼京線, 東急・東横線田園都市線, 京王井の頭線
「渋谷駅」より徒歩10分

地下鉄; 半蔵門線, 銀座線, 千代田線
「表参道駅」より徒歩5分



9. プログラム (講演タイトルは暫定的なものです。)

司会 平川 保博 (東京理科大学 教授)
岸田 孝弥 (高崎経済大学 教授)

時間	テーマ	発表者 (敬称略)
13:30～ 13:40	開会の挨拶	久米 均 (日本学術会議会員 中央大学 教授)
13:40～ 14:10	特別講演 (1) J A B E E のインパクト!! ～わが国の技術者教育に必要なものと J A B E E の役割～	向殿 政男 (明治大学 教授) 若山 邦紘 (法政大学 教授)
14:10～ 14:40	特別講演 (2) 教育の国際水準達成-早稲田大学理工学部 経営システム工学科における取り組み (仮題)	吉本 一穂 (早稲田大学 教授)
14:40～ 15:10	ディスカッション (1)	
休 憩 (10 分)		
15:20～ 15:50	特別講演 (3) J A B E E 認定と経営工学「関連分野」	森 雅夫 (東京工業大学 教授)
15:50～ 16:20	特別講演 (4) 鳥取大学工学部社会開発システム工学科での 経営工学関連分野 J A B E E 試行審査を受けて (仮題)	松見 吉晴 (鳥取大学 助教授)
16:20～ 16:40	ディスカッション (2)	
休 憩 (10 分)		
16:50～ 17:10	特別講演 (5) A B E T の審査に参加して : マサチューセッツ大学アムハースト校	木嶋 恭一 (東京工業大学 教授)
17:10～ 17:30	特別講演 (6) J A B E E の今後の取り組みと技術士資格の動向	渡辺 一衛 (成蹊大学 教授)
17:30～ 17:50	ディスカッション (3)	
17:50～ 18:00	閉会の挨拶	太田 宏 (日本経営工学会 会長 大阪府立大学 教授)

FAX 送付先 03-5814-5820

- 参加申込書 -

日本学術会議経営工学研究連絡委員会
 人工物設計・生産研究連絡委員会 経営管理工学専門委員会
第18回FME S・研連シンポジウム
 (2002年5月17日(金))

該当する□に✓を付けるとともに、所要事項をご記入下さい。

種 別	氏 名	勤 務 先 : 部 課 名 ・ 大 学 学 部 学 科 名	
<input type="checkbox"/> 一般			
<input type="checkbox"/> 学生			
所属学会 (複数記入可)			
<input type="checkbox"/> (社)オペレーションズ・リサーチ学会	<input type="checkbox"/> 日本信頼性学会	<input type="checkbox"/> 経営情報学会	
<input type="checkbox"/> (社)日本品質管理学会	<input type="checkbox"/> 研究・技術計画学会	<input type="checkbox"/> プロジェクトマネジメント学会	
<input type="checkbox"/> 日本開発工学会	<input type="checkbox"/> 日本設備管理学会	<input type="checkbox"/> (社)日本経営工学会	
<input type="checkbox"/> 上記以外 ()			
連絡先住所	〒		
	TEL	-	-
		FAX	-
資 料 代	一般 5,000円 ×	人 =	円
	学生 2,000円 ×	人 =	円
			合計
備 考	・定員に達し次第締め切りますので、お早めにお申込下さい。		

事務局使用欄	
--------	--